

vol.14
議会広報委員が市内の注目スポットを取材!!
議員ふじさん歩
今回の取材担当:井出 晴美



【第十五号】(桑崎)
右 いしいみちへ 十二丁
くわさきむら
左 十りぎみちへ 二丁
せじご 一七七丁



【第四十一号】
(鶴無ヶ淵)

議会にひと言

今回は、東京オリンピックで活躍した芦川うらら選手を支援する「励ます会」会長の吉野豊さんにお聞きしました。
(インタビュアー：吉川隆之)

地 元の芦川選手を応援したいとの気持ちから、「励ます会」を立ち上げ、活動しています。東京オリンピックでの6位入賞は、私たちに感動と不屈の精神を教えてくださいました。



今後も、富士市には様々な分野で活躍される方々が多く出てくると思います。夢に向かって頑張る子どもたちに対して、市を挙げて応援するような体制を築いてもらえたらと思います。

編集 9月定例会では、令和2年度の各会計決算について審議しました。

後記 一般会計では当初予算 920 億円に対し、新型コロナウイルス感染症対策を中心に、例年の倍以上となる 13 回もの補正を重ねました。歳出決算額は当初予算に比べおよそ 30 パーセント増の 1200 億円を超え、過去最大となり、これまでにない異例の決算となりました。

改めて新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを感じた次第です。
(井上 保)

歩道にさり気なくたたずむ
しゅんこう
仁藤春耕の道しるべ



旧東海道から吉永地区を南北に貫き、十里木を経て御殿場市須走へ続く街道沿いに道しるべがあります。これは、健康面の事情から日清、日露戦争に召集されなかった吉永地区の百姓、仁藤春耕が、自らも世のため人のために役立ちたいと考え、明治 39 年からおよそ 5 年の歳月をかけ、旅人が迷わないようにと辻々に設置したものです。

春耕は自分の歩幅で距離を測っては石を探し、のみとつちを使ってたった 1 人で 128 基の道しるべを作り、設置しました。

現存する 54 基のうち、37 基が富士市内にあり、そのうちの十数基が吉永北地区に点在しています。皆様も道しるべを巡り、先人の偉業に思いをさせてみてはいかがでしょうか。

議会 vol.14
ヒストリー
住民の希望をかなえた
身延線の西回り・複線化
(昭和 49 年)

花田踏切で渋滞する
旧国道 1 号(昭和 44 年)

現在、「富士緑道」として親しまれている遊歩道には、かつて身延線が走っていました。昭和 3 年に全線開通した身延線は、当時、1 日の運転本数が多く、また、戦後のモータリゼーションの進展により、旧国道 1 号と平面交差する花田踏切(本市場)が交通渋滞の原因となっていました。このことから、身延線の西回り・複線化は住民の切望するところとなり、昭和 34 年には旧富士市議会において特別委員会が開催され、土地の買収や高架化に伴う市の費用負担等について議論されました。昭和 41 年の新富士市誕生後も特別委員会は引き継がれ、昭和 49 年に富士ー富士宮間の複線化工事が完了するまで議論が続けられました。(担当：長谷川祐司)

**次回
定例会予告**

11 月定例会は、11 月 17 日から 12 月 3 日まで開催される予定です。

発行
富士市議会
編集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町 1 丁目 100 番地
☎ 0545 (55) 2878 (直通)

ウェブサイト
富士市議会 検索